

長与中学校 平和宣言

今から七十五年前の今日、八月九日。この長崎で起きたことを私たちは決して、忘れてはいけません。

人類史上二発目の原子爆弾は、一瞬にして長崎の街を焼き尽くし、たくさんの人や生き物の命を奪いました。その後、平和を祈り、どんなに苦しくても、生き抜いた人々がいたからこそ、今の私たちがあるのです。

長崎で育った私たちは、過去に起きた事実学び、考え、そしてそのことをたくさんの人に伝えていかなければなりません。

豊かな自然、

静かに休むことができる家庭、

みんなが楽しく過ごせ、充実した学習ができる学校、

そんな社会で私たちは生きています。だからこそ、この平和な世の中を維持するための強い意志を持たなければならぬのです。

世界では、命を奪う戦争や暴力が、どこかで絶えることなく続けられ、今、このときも多くの命が奪われ、心や体が傷つけられています。

戦争は、人間が起こすもの、いじめや差別、無関心、価値観の違い、

そして、紛争や暴力から生まれます。

あなたの心の中は、今、平和ですか。令和二年、世界は新型コロナウイルスが流行し、多くの人々が苦しみ、命を奪われています。また、そのことによる差別や心ない言葉により、二重に苦しんでいる人がいます。

私たちは自分自身を深く見つめ、身近な、偏見や差別に敏感になり、公平な判断ができるようにならなければなりません。

平和の本当の意味を仲間とともに考え続け、令和という時代が平和であり続けるために、自分たちにできることを見つけ出し行動していくことを、今日、長崎原爆の日に誓います。

一、私たちは、言葉の暴力を絶対に許しません。

一、学級で辛い思いをする人を作りません。

一、ものごとを一つの方向からだけ見て判断しません。

一、自分と異なる考えにも耳を傾け、尊重します。

一、自分の思いや周りの人の思いを大切にします。

